

行政環境関連施策（第3節）											
環境負荷の少ない循環を基調としたまちづくり											
ア 頁	イ 取組	ウ 担当部課	エ 現状と課題等	オ H22	カ H23	キ H24	ク H25	ケ H22結果	コ H23結果	サ 進捗状況	シ 達成見通
58	広報、環境かわら版などによる情報提供により市民・事業所のごみの減量に向けた意識の向上を図ります。	清掃対策課	10月の一宮市環境月間を中心にごみ減量に向けた啓発活動を行っている。また、環境かわら版・モニター通信を随時発行し、市民の意識の向上に努めている。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	環境かわら版 6回 モニター通信 1回 発行	環境かわら版 7回 モニター通信 3回 発行	B 計画 通り	B 予定 通り
		環境保全課	環境基本計画推進協議会と市内事業者との協定により、20年10月からレジ袋有料化を実施し、平成24年3月末で16事業者52店舗となった。	計画推進分科会において、レジ袋有料化の啓発継続	計画推進分科会において、レジ袋有料化の啓発継続	継続実施	継続実施	レジ袋有料化啓発用チラシを作製し、送付した。	レジ袋有料化啓発用チラシを作製し、送付した。	B 計画 通り	B 予定 通り
58	広報、環境かわら版や『行動事例集』による取組紹介などを実施して廃棄物減量などを積極的に行う市民・事業所に対して側面的な支援を行います。	清掃対策課	10月の一宮市環境月間を中心にごみ減量に向けた啓発活動を行っている。また、環境かわら版・モニター通信を随時発行し、市民の意識の向上に努めている。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	環境かわら版 6回 モニター通信 1回 発行	環境かわら版 7回 モニター通信 3回 発行	B 計画 通り	B 予定 通り
58	ごみ減量のマスタープラン策定を検討します。	清掃対策課	18年度を初年度とし、32年度を最終年度とする一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を策定した。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画通り実施	計画通り実施	B 計画 通り	B 予定 通り
58	ごみ減量の取組状況を町内単位などで確認できる方法を検討します。	清掃対策課	効率的な体制で収集業務を実施しているので、町内単位でのごみ量把握は困難と思われるが、町内単位の減量取組については検討していきたい。	研究・検討を行う	研究・検討を行う	研究・検討を行う	研究・検討を行う	検討中	検討中	B 計画 通り	B 予定 通り
59	市民・事業者・市が協力してごみ減量に取り組めるよう「一宮市環境基本計画推進協議会（仮称）」などの組織を創設します。	清掃対策課	廃棄物減量等推進員制度等、既存組織の充実を図る。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	廃棄物減量等推進員 1,624人	廃棄物減量等推進員 1,476人	B 計画 通り	B 予定 通り
		環境保全課	環境基本計画推進協議会と市内事業者との協定により、20年10月からレジ袋有料化を実施し、平成24年3月末で16事業者52店舗となった。	計画推進分科会において、レジ袋有料化の啓発継続	計画推進分科会において、レジ袋有料化の啓発継続	継続実施	継続実施	3店舗が新たに増加した。	1事業者と新たに協定を締結	B 計画 通り	B 予定 通り
59	市民団体、NPOの育成や活動への支援を行います。	地域ふれあい課	一宮市と市民活動団体（市民）が協力し合い、さまざまな分野で活躍する市民活動団体（市民）を支援するとともに、市民活動の活性化と市民の意識啓発を図る。 16年7月市民活動支援センターを設立した。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施し、市民活動団体やボランティアを支援した。新たに、市民が選ぶ市民活動支援制度により76団体を支援した。	継続実施し、市民活動団体やボランティアを支援した。新たに、市民が選ぶ市民活動支援制度により75団体を支援した。	B 計画 通り	B 予定 通り
59	町内会・自治会、市民レベルで行うごみ減量（資源回収や生ごみ堆肥など）の取組、自立活動を支援します。	清掃対策課	衛生委員の廃止に伴い、従来からの廃棄物減量等推進員制度を充実させ、町内でのごみ出しマナー、ごみ減量への取組を支援する。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	廃棄物減量等推進員 1,624人	廃棄物減量等推進員 1,476人	B 計画 通り	B 予定 通り
59	事業所が連携してごみ減量に取り組めるよう、「一宮市環境基本計画推進協議会（仮称）」を通じて組織構築への支援を行います。	清掃対策課	事業者側にも事業者責任が問われるようになり、独自の取組に力を入れているところも多い。行政側としてはそれらの取組の妨げとならぬよう、側面的な支援を続けていく。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	目標通り実施	目標通り実施	B 計画 通り	B 予定 通り
		環境保全課	環境基本計画推進協議会と市内事業者との協定により、20年10月からレジ袋有料化を実施し、平成24年3月末で16事業者52店舗となった。	計画推進分科会において、レジ袋有料化の啓発継続	計画推進分科会において、レジ袋有料化の啓発継続	継続実施	継続実施	3店舗が新たに増加した。	1事業者と新たに協定を締結	B 計画 通り	B 予定 通り
59	事業所などに対してISO14000シリーズ認証取得に係る補助を行います。	経済振興課	ISO14000シリーズの認証を取得した企業に対し、その審査にかかる経費を補助する。 補助対象経費の1/2の95% 95万円を限度 17年度から限度額を50万円に変更	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	申請件数なし	2件 補助金額458,000円	B 計画 通り	B 予定 通り
60	市が排出するごみに関して「エコアクション一宮」など率先行動計画のなかで減量目標をたてて取り組みます。また、その事例を広く紹介します。	環境保全課	市が排出するごみに関し、「エコアクション一宮」の中で、減量目標はないものの、排出する廃棄物を分別等の徹底やリサイクルの推進等を積極的に実施することによりごみ減量に取り組んでいます。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画の実施状況や温室効果ガス排出量等を公表	計画の実施状況や温室効果ガス排出量等を公表	B 計画 通り	B 予定 通り
60	「いちのみや530（ごみゼロ）作戦」の推進や環境基本計画（行動事例集を含む）の周知など市民、事業者等がごみ減量の目標を設定して取り組めるように必要な支援を行います。	清掃対策課	14年7月の「ごみ減量シンポジウム」開催を受け、「いちのみや530作戦」を開始する。 15年度には市内小中学校において「エコスクール運動」を展開。ごみ減量・環境保全に対する意識の向上を図る。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	エコスクール運動参加校 61校	エコスクール運動参加校 61校	B 計画 通り	B 予定 通り
		環境保全課	当時のごみ減量分科会にて17年度に「ごみ減量ポスター」の作製と「エコ・ウォーク」の推進を発案し、平成18年度には、市民公募により「ごみ減量ポスター」作製。「エコ・ウォーク」の登録者を募集し、登録者にはワッペンを無料提供	「エコ・ウォーク」の登録者募集継続 「1人1日53gごみ減量」の具体的実行策を検討	「エコ・ウォーク」の登録者募集継続 「1人1日53gごみ減量」の具体的実行策を検討	継続実施	継続実施	「エコ・ウォーク」の登録者 20世帯 28名 12団体 369名 合計 397名	「エコ・ウォーク」の登録者 20世帯 28名 12団体 369名 合計 397名	B 計画 通り	B 予定 通り
60	環境家計簿の内容を充実して普及促進に努めます。	環境保全課	環境保全課窓口で希望者に配布、消費生活フェアなどのイベントで配布している。	消費生活フェアで配布	継続実施	継続実施	継続実施	消費生活フェアなどで環境家計簿を希望者に配布	消費生活フェアなどで環境家計簿を希望者に配布	B 計画 通り	B 予定 通り
61	自らの事務事業について、過度に物品等の購入をしないよう「グリーン購入」推進の中での職員等への周知徹底に努めます。	環境保全課	15年度に基本方針を策定し、各年度の取組状況を把握、公表している。 また、グリーン購入の第一原則が発生の抑制、必要以上に購入しないことを説明している。	グリーン購入は、事務に支障のない限り100%	グリーン購入は、事務に支障のない限り100%	継続実施	継続実施	グリーン購入率は、95.7%であった。	グリーン購入率は、91.4%であった。	B 計画 通り	B 予定 通り
61	市民のリユース、リサイクルの活動を支援するため、フリーマーケット開催など必要な情報提供に努めます。	清掃対策課	環境センター北館内リサイクル展示室において、2ヶ月ごとにリサイクル品を抽選により市民に譲り渡している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	リサイクル品譲り渡し数 223点	リサイクル品譲り渡し数 109点	B 計画 通り	B 予定 通り

行政環境関連施策（第3節）											
環境負荷の少ない循環を基調としたまちづくり											
ア 頁	イ 取組	ウ 担当部課	エ 現状と課題等	オ H22	カ H23	キ H24	ク H25	ケ H22結果	コ H23結果	サ 進捗状況	シ 達成見通
61	リユース・リサイクル活動の企画（例えば市のホームページを利用した交換制度など）、実施を検討します。	清掃対策課	環境センター北館内リサイクル展示室において、2ヶ月ごとリサイクル品を抽選により市民に譲り渡している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	リサイクル品譲り渡し数 223点	リサイクル品譲り渡し数 109点	B 計画通り	B 予定通り
61	「グリーン購入」運動の一環として備品の有効利用制度を検討するなど、市自ら率先してごみを出さない、ものを生かす行動を実践します。	環境保全課	市庁内情報システムのインフォメーションに使用しなくなった備品等を掲載し、備品等を有効利用している。	使用しなくなったため提供できる備品がある課（公所）と、そうした備品を必要としている課（公所）が相互に情報交換することにより、備品の有効利用を図る。	使用しなくなったため提供できる備品がある課（公所）と、そうした備品を必要としている課（公所）が相互に情報交換することにより、備品の有効利用を図る。	継続実施	継続実施	市庁内情報システムのインフォメーションに使用しなくなった備品等を掲載し、情報交換	市庁内情報システムのインフォメーションに使用しなくなった備品等を掲載し、情報交換	B 計画通り	B 予定通り
62	小売店等と連携してリフューズの運動の定着に努めます。	清掃対策課	事業者側にも事業者責任が問われるようになり、独自の取組に力を入れているところも多い。行政側としてはそれらの取組の妨げとならぬよう、側面的な支援を続けていく。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	目標通り実施	目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り
62	「一宮市ごみの減量等の推進に関する条例」に基づくマイバック運動、リフューズ運動を具体的に推進する計画の策定・実施を検討します。	清掃対策課	マイバック持参推奨等、ごみ減量に向けて、啓発活動等を実施している。マイバック持参推奨については、環境基本計画推進協議会と市内事業者との協定により、20年10月からレジ袋有料化を実施し、平成22年3月末で16事業者56店舗となった。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	目標通り実施	目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り
63	グリーン購入普及のため広報・ホームページなどを活用した商品やその開発に関する情報（国や県が実施する補助制度等）の提供に努め、市民・事業所への支援をします。	環境保全課	基本方針に基づき実施し、取組結果については広報掲載、報道発表している。	グリーン購入がわかりやすい制度となるよう研究を進める。	グリーン購入がわかりやすい制度となるよう研究を進める。	継続実施	継続実施	取組結果について広報掲載、報道発表した。グリーン購入率は、95.7%であった。	取組結果について広報掲載、報道発表した。グリーン購入率は、91.4%であった。	B 計画通り	B 予定通り
63	市、自らグリーン購入を率先します。（「エコアクション一宮」のなかでグリーン購入を推進）	環境保全課	15年度に基本方針を策定し、各年度の取組状況を把握、公表している。	グリーン購入は事務に支障のない限り100%	グリーン購入は事務に支障のない限り100%	継続実施	継続実施	グリーン購入率は、95.7%であった。	グリーン購入率は、91.4%であった。	B 計画通り	B 予定通り
64	計画期間中のごみ発生量の推移を確認し、状況により指定ごみ袋制度の導入や指定ごみ袋を利用した紙製容器包装やプラスチック製容器包装の分別回収の採用を検討します。また、同様の趣旨により有料化についても検討します。	清掃対策課	20年度から、2市1町のごみ出しルールの統一。指定ごみ袋制度の導入や収集資源として資源物のステーション回収を開始してリサイクルの推進とごみ減量を図る。新ルールと指定ごみ袋制度の導入によりごみ減量が図られており、本事業を継続していく。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	収集資源の収集量 4,902t	収集資源の収集量 4,559t	B 計画通り	B 予定通り
64	リサイクル推進のため、リサイクルステーション等の設置を検討します。	清掃対策課	ごみ出しルールの統一により、分別を徹底し、リサイクル率を高める。20年度から、収集資源として資源物のステーション回収を開始。また、市内4カ所に資源回収拠点を設置して、土・日曜日に資源物の受入を実施する。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	資源量（収集資源・町内回収資源・集団回収資源） 24,407t	資源量（収集資源・町内回収資源・集団回収資源） 22,124t	B 計画通り	B 予定通り
64	リサイクル促進のため、NPOなどがエコマネー制度を実施できるよう、その支援に努めます。	地域ふれあい課	平成16年より一宮vgⅠ地域通貨研究会で試行運用を開始したが、現在活動が休止した状態。今後同様の団体が現れた場合は支援に努めます。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	実施団体は現れなかったが、市民活動団体やボランティアを支援する制度は継続実施している。	実施団体は現れなかったが、市民活動団体やボランティアを支援する制度は継続実施している。	E 該当事業なし	E 該当事業なし
64	リサイクル事業の定着を図るため、関係団体への助成や関連情報の提供などを行います。	清掃対策課	資源回収の主催団体（町内会・学校など）に対し、回収量に応じた交付金を交付している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	町内回収資源・集団回収資源の量 19,505t	町内回収資源・集団回収資源の量 17,565t	B 計画通り	B 予定通り
65	ごみの分別回収を徹底するために、ホームページ活用やごみ出しカレンダーの充実を検討するなど必要な情報提供に努めます。また、それにより転入者への周知徹底を図ります。	清掃対策課	20年度の統一ルール移行に合わせ、「ごみ出し辞典」やカレンダーなどを作成のほか、ホームページ等で情報提供に努めるとともに、チラシ等による啓発を実施していく。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	「ごみ出しカレンダー」「資源カレンダー」を全世帯に配布した。ごみ出し辞典、カレンダー等を各市庁舎及び出張所に配置し、HPにも掲載した。	「ごみ出しカレンダー」「資源カレンダー」を全世帯に配布した。ごみ出し辞典、カレンダー等を各市庁舎及び出張所に配置し、HPにも掲載した。	B 計画通り	B 予定通り
65	地域での指導者やキーマン（分別が判っていて、相談できる人）を養成するなど人的体制の充実を図ります。	清掃対策課	12年度より「環境保全・ごみ減量推進モニター」制度を設立。16年度からは「廃棄物減量等推進員」制度を拡充し、地域におけるリーダーの養成をめざしている。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	モニター18名 廃棄物減量等推進員 推進員1,624名	モニター16名 廃棄物減量等推進員 1,476人	B 計画通り	B 予定通り
65	環境循環型農業試験事業の確立により生ごみ堆肥化事業を推進します。	清掃対策課	16年度より生ごみを分別収集・乾燥処理し、堆肥の原料とする資源化事業を試験的に実施してきたが、民間施設の処理能力の拡大が望めないことと事業経費が高額となることから22年度末をもって事業廃止とした。本取組は、再生利用が要となるため、農業振興課が実施する「循環型農業普及推進事業」による資源循環方式の促進が有効である。	継続実施	事業終了	—	—	モデル事業として 660世帯から生ごみを回収	—	事業終了	事業終了

行政環境関連施策（第3節）											
環境負荷の少ない循環を基調としたまちづくり											
ア 頁	イ 取組	ウ 担当部課	エ 現状と課題等	オ H22	カ H23	キ H24	ク H25	ケ H22結果	コ H23結果	サ 進捗状況	シ 達成見通
65	環境循環型農業試験事業の確立により生ごみ堆肥化事業を推進します。	農業振興課	23年度、市内公共施設と一部町内会及びマンションの協力を得て、39,177キログラムの生ごみから11,753キログラムの堆肥を製造した。引き続き、よい堆肥ができるよう努めるとともに、啓発にも力をいれていく。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	市内全体で、139,396リットルの生ごみから、33,700リットルの堆肥を製造しました。	市内全体で、39,177キログラムの生ごみから、11,753キログラムの堆肥を製造しました。	B 計画通り	B 予定通り
65	生ごみ堆肥化事業を効率的に運営するため、他の事例を参考にします。	清掃対策課	16年度より生ごみを分別収集・乾燥処理し、堆肥の原料とする資源化事業を試験的に実施してきたが、民間施設の処理能力の拡大が望めないことと事業経費が高額となることから22年度末をもって事業廃止とした。本取組は、再生利用が要となるため、農業振興課が実施する「循環型農業普及推進事業」による資源循環方式の促進が有効である。	継続実施	事業終了	－	－	モデル事業として660世帯から生ごみを回収	－	事業終了	事業終了
		農業振興課	23年度、市内公共施設と一部町内会及びマンションの協力を得て、39,177キログラムの生ごみから11,753キログラムの堆肥を製造した。引き続き、よい堆肥ができるよう努めるとともに、啓発にも力をいれていく。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	市内全体で、139,396リットルの生ごみから、33,700リットルの堆肥を製造しました。	市内全体で、39,177キログラムの生ごみから、11,753キログラムの堆肥を製造しました。	B 計画通り	B 予定通り
65	家庭で独自に堆肥化ができるよう生ごみ簡易堆肥化容器（コンポスト）、生ごみ発酵用密閉容器、電動生ごみ処理機の補助金制度を活用した支援を行います。	清掃対策課	3年12月より生ごみ簡易堆肥化容器（コンポスト）、8年9月から生ごみ発酵用密閉容器、11年8月から電動生ごみ処理機の購入補助を実施している。また、講習会の開催等で使用者の拡大に努める。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	購入補助件数 234件	購入補助件数 196件	B 計画通り	B 予定通り
66	最終処分場の延命化を図るため、埋立処分されている焼却灰や不燃ごみ等について灰溶融炉導入などにより再利用を検討します。	施設管理課	19年度より一部焼却残渣を民間灰溶融施設で資源化するとともに、民間最終処分場を利用し、市の最終処分場の延命を図ることとした。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	資源化できた量 26,089t 光明寺最終処分場焼却残渣処分量 9,763t（不燃含む） 民間焼却残渣処分量 6,094t	資源化できた量 23,507t 光明寺最終処分場焼却残渣処分量 2,775t（不燃含む） 民間焼却残渣処分量 12,817t	B 計画通り	B 予定通り
66	「エコハウス138」の運営など、焼却施設の余熱を有効利用します。	施設管理課	エコハウス138の温水プールや環境センターの空調等に利用している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	目標通り実施	目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り
67	広報・ホームページ等を利用した啓発活動の推進により、ごみ出しルール遵守やマナー向上を図ります。	清掃対策課	20年3月に全世帯に対し、「ごみと資源の出し方分け方辞典」を配布し、同時にホームページにも掲載した。また、外国語バージョンも作成した。これらは転入手続きの際、手渡すようにしている。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	目標通り実施	目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り
67	警察など関係機関と連携しての不法投棄監視に努めます。	維持課	14年度より、警察、県一宮建設事務所及び市関係各課により「不法投棄対策連絡会」を設立し合同パトロールを実施している。高速道路沿いや田畑の間の道路等、人目のない地域が市内に多いため、不法投棄の根絶にはいたっていない。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	パトロール実施	パトロール実施	B 計画通り	B 予定通り
		清掃対策課	14年度より、警察、県一宮建設事務所及び市関係各課により「不法投棄対策連絡会」を設立し合同パトロールを実施している。夜間パトロールや郵便局との提携による通報制度により、不法投棄の防止に努めている。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	通報・発見件数 338件	通報・発見件数 374件	B 計画通り	B 予定通り
75	「一宮市中心市街地活性化基本計画」などコンパクトシティ形成につながる施策を推進します。	経済振興課	まちづくり3法の改正に伴い、平成18年度から実施する「一宮市中心市街地活性化基本計画」策定事業の中で検討する。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	計画事業を随時実施 中心市街地における民間事業等を検討	計画事業を随時実施 中心市街地における民間事業等を検討	D 不十分	C やや遅れる
75	市民参加の場の提供や情報提供などの方法により市民・事業所等の理解を得て、都市計画のマスタープランの見直しの際にコンパクトシティの検討を行います。	まちづくり課	21年6月18日の告示をもって、一宮市都市計画に関する基本的な方向（都市計画マスタープラン）の見直しは一応の区切りとなりました。都市機能の集約を、都市拠点、副次的都市拠点、地域生活拠点の3つの階層構造として位置づけたこと、居住の用に供するための市街地を必要以上に拡大しないように枠を決めたこと	－	－	－	－	－	－	B 計画通り	B 予定通り
77	パークアンドライド、環境定期券などの施策や公共交通機関（路線バスなど）の充実を検討し、自動車利用の抑制を図ります。	地域ふれあい課	平成19年11月より、生活交通バス「ニコニコふれあいバス」及び「千秋ふれあいバス」の運行を開始した。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	利用者 ニコニコふれあいバス 39,431人 千秋ふれあいバス 32,164人	利用者 ニコニコふれあいバス 44,298人 千秋ふれあいバス 32,914人	B 計画通り	B 予定通り

行政環境関連施策（第3節）											
環境負荷の少ない循環を基調としたまちづくり											
ア 頁	イ 取組	ウ 担当部課	エ 現状と課題等	オ H22	カ H23	キ H24	ク H25	ケ H22結果	コ H23結果	サ 進捗状況	シ 達成見通
77	「ノーカーデー」の普及など、啓発活動に努めます。	環境保全課	エコアクション一宮やホームページの地球温暖化対策の1項目として掲げている。 毎月第2水曜日に市職員を対象に、ノーカーデーを実施している。	市の事業として実施 庁内放送・庁内情報システムにより啓発を行う。	市の事業として実施 庁内放送・庁内情報システムにより啓発を行う。	継続実施	継続実施	毎月、第2水曜日のノーカーデーの前に、庁内情報システムのインフォメーションにより年12回掲載、啓発	毎月、第2水曜日のノーカーデーの前に、庁内情報システムのインフォメーションにより年12回掲載、啓発	B 計画通り	B 予定通り
78	レンタサイクル制度や歩行者や自転車が利用しやすい道路等の整備を検討し、自転車の利用促進を図ります。	道路課	新たに土地を買収して自転車道を設置することは極めて困難であるため、既存の道路空間を活用し、この中でいかに自転車の利用環境を向上させ、整備するかが課題となっている。	(県)名古屋岐阜線 L=300m 市道栄線 L=295m	計画作成	新一宮尾西線 L=139m	新一宮尾西線 L=500m	(県)名古屋岐阜線 L=300m 市道栄線 L=326m	計画について検討をしました。	B 計画通り	B 予定通り
78	自転車の利用に適しているという一宮市の特性をPR（情報発信）します。	環境保全課	該当事業はないが、総合的に検討していきます。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	検討中	検討中	E 該当事業なし	E 該当事業なし
78	サイクリングが楽しめるような道路の整備を検討し、その情報提供に努めます。	道路課	新たに土地を買収して自転車道を設置することは極めて困難であるため、既存の道路空間を活用し、この中でいかに自転車の利用環境を向上させ、整備するかが課題となっている。	(県)名古屋岐阜線 L=300m 市道栄線 L=295m	計画作成	新一宮尾西線 L=139m	新一宮尾西線 L=500m	(県)名古屋岐阜線 L=300m 市道栄線 L=326m	計画について検討をしました。	B 計画通り	B 予定通り
78	「エコアクション一宮」により市が率先して「エコドライブ運動」を推進します。また、その取組紹介等により運動の輪を広めます。	環境保全課	13年度の「エコアクション一宮」開始時に、職員周知資料として「一宮エコドライブ運動10箇条」を送付した。 推進者研修会や職員研修時に、エコアクション一宮について説明している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	職員研修時にエコアクション一宮について説明した。	職員研修時にエコアクション一宮について説明した。	B 計画通り	B 予定通り
78	「エコアクション一宮」（グリーン購入）で公用車の低燃費・低公害化を図ります。	管財課	環境や安全に配慮しつつ、交通法令等を遵守した「人と環境にやさしい」安全運転を心がけている。 また、耐用年数を経過した公用車の買い替えに際しては、低燃費・低公害化を実現した自動車の購入を具体的に検討する。	一般公用車の75%以上を低公害車とする。	一般公用車の75%以上を低公害車とする。	一般公用車の80%以上を低公害車とする。	一般公用車の80%以上を低公害車とする。	一般公用車186台中、低公害車135台導入、比率73%（内訳）天然ガス車4台低排出ガソリン車121台ハイブリット車10台	一般公用車185台中、低公害車136台導入、比率74%（内訳）天然ガス車3台低排出ガソリン車123台ハイブリット車10台	C 多少下回る	B 予定通り
		消防本部総務課	環境や安全に配慮しつつ、交通法令等を遵守した「人と環境にやさしい」安全運転を心がけている。 また、耐用年数を経過した公用車の買い替えに際しては、低燃費・低公害化を実現した自動車の購入を具体的に検討する。	基本方針に基づき継続実施 一般公用車45%	基本方針に基づき継続実施 一般公用車50%	基本方針に基づき継続実施 一般公用車55%	基本方針に基づき継続実施	低公害車 3台導入（内訳）低排出車 1台導入超低PM排出ディーゼル車 2台導入低公害車導入率45%	低公害車 5台（内訳）低排出車 3台導入超低PM排出ディーゼル車 2台導入低公害車導入率51%	B 計画通り	B 予定通り
		上下水道部経営総務課	環境や安全に配慮しつつ、交通法令等を遵守した「人と環境にやさしい」安全運転を心がけている。 また、耐用年数を経過した公用車の買い替えに際しては、低燃費・低公害化を実現した自動車の購入を具体的に検討する。	基本方針に基づき継続実施 一般公用車50%	基本方針に基づき継続実施 一般公用車55%	基本方針に基づき継続実施 一般公用車57%	基本方針に基づき継続実施 一般公用車60%	一般公用車66台中低公害車34台導入、比率53%（内訳）低排出ガソリン車33台天然ガス車1台	一般公用車66台中低公害車35台導入、比率53%（内訳）低排出ガソリン車34台天然ガス車1台	C 多少下回る	B 予定通り
78	低燃費・低公害車の普及啓発（情報発信）に努めます。	環境保全課	車両担当各課へグリーン購入の資料として情報提供している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	車両担当各課へ情報提供しました。	車両担当各課へ情報提供しました。	B 計画通り	B 予定通り
80	広報・ホームページ等を活用した情報発信や「エコアクション一宮」の取組内容の紹介により市民・事業所の省エネ推進を支援します。	環境保全課	毎年度「温室効果ガス排出結果」等各種取組を、広報掲載、報道発表している。 それ以外の省エネ情報については、ホームページで紹介している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	温室効果ガス排出結果を広報掲載、報道発表しました。 基準年度である17年度と比較して8.8%（10,498t）減少した。	温室効果ガス排出結果を広報掲載、報道発表しました。 基準年度である17年度と比較して10.2%（12,225t）減少した。	B 計画通り	B 予定通り
80	フィフティ・フィフティ運動の企画や環境家計簿の充実（診断等を付けるなど）など取組者がやりがいを持てるような施策を検討し、省エネ行動を促進します。	環境保全課	環境保全課窓口で希望者に配布、消費生活フェアなどのイベントで配布している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	消費生活フェアで環境家計簿を希望者に配布しました。	消費生活フェアで環境家計簿を希望者に配布しました。	B 計画通り	B 予定通り
81	グリーン購入紹介など広報・ホームページを利用した情報発信により市民・事業者の取組を支援します。	環境保全課	基本方針に基づき実施し、取組結果については広報掲載、報道発表している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	取組結果について広報掲載、報道発表しました。	取組結果について広報掲載、報道発表しました。	B 計画通り	B 予定通り

行政環境関連施策（第3節）											
環境負荷の少ない循環を基調としたまちづくり											
ア 頁	イ 取組	ウ 担当部課	エ 現状と課題等	オ H22	カ H23	キ H24	ク H25	ケ H22結果	コ H23結果	サ 進捗状況	シ 達成見通
81	物品の購入や施設の更新（新築や建替え、増築）などで環境に配慮するなど市自ら率先して行動します。	環境保全課	基本方針に基づき環境配慮型物品の優先購入を実施している。施設の更新に関しては13年12月に「公共施設建設等に係るガイドライン」を作成し、省エネ化を図っている。	事務に支障のない限り100%	事務に支障のない限り100%	継続実施	継続実施	基本方針に基づき環境配慮型物品を優先的に購入し、施設の更新に関しては省エネを図った。	基本方針に基づき環境配慮型物品を優先的に購入し、施設の更新に関しては省エネを図った。	B 計画 通り	B 予定 通り
81	この地域で効果的に新エネを普及させるための計画策定や普及に向けた支援策を検討します。	環境保全課	温室効果ガスの排出を抑制し地球温暖化防止に寄与するため、住宅用太陽光発電システムを設置する者に、経費の一部を補助している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	住宅用太陽光発電システム設置補助 件数 868件 補助額 62,177,000円	住宅用太陽光発電システム設置補助 件数 937件 補助額 68,924,000円	B 計画 通り	B 予定 通り
81	「公共施設建設等に係る環境配慮ガイドライン」に基づき公共施設の更新（新築や建替え、増築）に際して積極的に新エネを導入します。	建築住宅課	施設の新築及び改築に伴い、太陽光発電・雨水利用設備及び省エネ・高効率器具の積極的採用等環境に配慮した設計に心がけている。LED照明器具は、イニシャルコストとランニングコストのバランスから、現状は補助照明への導入を進め、24・25年度以降は主照明への導入を進める。	新築施設への太陽光発電設備、雨水再利用設備、LED補助照明器具、高効率型空調設備を積極的に導入する。	新築施設への太陽光発電設備、雨水再利用設備、LED補助照明器具、高効率型空調設備を積極的に導入する。	新築施設への太陽光発電設備、雨水再利用設備、LED主照明器具、高効率型空調設備を積極的に導入する。	新築施設への太陽光発電設備、雨水再利用設備、LED主照明器具、高効率型空調設備を積極的に導入する。	開明児童館に雨水再利用設備の設置、萩原消防出張所、南部中学北舎、玉野団地2期棟にLED照明一部採用、いずみ更生園に高効率型空調設備の導入	浅井公民館に太陽光発電設備の設置、今伊勢西小学校、大和東住宅に雨水再利用設備の設置、浅井公民館、他11件においてLED照明一部採用、浅井公民館、他6件において高効率型空調設備の導入	B 計画 通り	B 予定 通り
82	公園の整備や市の施設等での緑化の推進によりの地域の緑を保全し、また緑化を推進します。	公園緑地課	23年度末の都市公園面積（準ずる施設を含む）は、214.78haとなっている。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	都市公園面積 211.14ha 植栽本数 12,963本	都市公園面積 214.78ha 植栽本数 1911本	B 計画 通り	B 予定 通り
82	「市民参加による森づくり」など市民参加の緑化活動を推進します。	公園緑地課	市民参加の森づくり植樹祭（市と寄付による事業） 21年度 大野極楽寺公園（野鳥園）植樹祭 250名 毛受緑道植樹祭（寄附） 191名	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	一宮斎場 植樹本数 640本	検討を進めているが 実施事業なし	B 計画 通り	B 予定 通り
83	「愛知県フロン回収・処理推進協議会」の一員として、フロンガスの適正廃棄に係る啓発活動に積極的に参加するなど、その施策に協力します。	環境保全課	「愛知県フロン回収・処理推進協議会」会員として、会議や行事等に参加している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	「愛知県フロン回収・処理推進協議会」の会議に出席し、啓発活動の施策に協力しました。	「愛知県フロン回収・処理推進協議会」の会議に出席し、啓発活動の施策に協力しました。	B 計画 通り	B 予定 通り
84	地球環境問題の解決のため国や愛知県の施策に積極的に協力します。	環境保全課	広報掲載等を行い国等に協力している。C O P 10関連事業として展示会を開催する。	県が主催するCOP10「地球のいのち・交流ステーション事業」にブース出展 COP10関連講演会を開催	一宮市立豊島図書館にてC O P 10関連の展示会を開催	継続実施	継続実施	県が主催するCOP10「地球のいのち・交流ステーション事業」に4団体が出展しました。 COP10関連講演会を12月12日開催しました。 参加者73名	一宮市豊島図書館にてCOP10関連の展示会（11/1～11/25）を開催した。	B 計画 通り	B 予定 通り
84	地球環境問題を幅広く取り上げ、啓発活動に努めます。	環境保全課	エコアクションー宮やホームページの地球温暖化対策の1項目として掲げている。 6月の環境月間にあわせて、関連記事を広報に掲載している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	6月環境月間に市広報へ環境関連の記事を掲載しました。	6月環境月間に市広報へ環境関連の記事を掲載しました。	B 計画 通り	B 予定 通り

行政環境関連施策（第3節）											
環境負荷の少ない循環を基調としたまちづくり											
ア 頁	イ 取組	ウ 担当部課	エ 現状と課題等	オ H22	カ H23	キ H24	ク H25	ケ H22結果	コ H23結果	サ 進捗状況	シ 達成見通